



## カードを手に、展望台から一望!

—南摩ダムのダムサイト展望広場一般開放  
 ・ダムカードの配布が開始—  
 ((独)水資源機構 思川開発建設所)

11月1日、建設中の南摩ダムの工事現場が一望できる「ダムサイト展望広場」の一般開放が始まりました。また、同日から「ダムカード」の配布も開始され、初日は特別に展望広場でも配布。県内外から多くの人々が訪れ、係員の解説に耳を傾けながら、まだ見ぬ「南摩ダム」の姿に期待をふくらませていました。

なお、現在、ダムカードは、「思川開発建設所(口栗野)」および「まちの駅 新・鹿沼宿(仲町)」で配布しています。受け取りには現地写真の提示が必要です。

## ソフトボールで楽しく健康に

—体力づくり壮年ソフトボール大会—

10月20日～11月9日、鹿沼運動公園他で、「体力づくり壮年ソフトボール大会」が行われました。

この大会は、ソフトボールを通して、体力づくりと親睦を図ることを目的として開催されるもの。

今年度は22団体の市民チームが参加し、栃窪二球会が見事優勝を飾りました。



## 「自分のまちは自分でつくる」

まち歩きで踏み出す一歩

—栃木県まちなか元気会議

鹿沼市タウンミーティング—



11月6日、空き家や空き地等の資源の利活用によるまちづくりについて考える「鹿沼市タウンミーティング」が行われました。

県内の中心市街地の活性化を目的に設置された「栃木県まちなか元気会議」と市の共催で実施され、地域住民や佐藤市長などが参加。市民情報センターで、(株)ワークヴィジョンズ代表取締役の西村氏による講演を聞いた後、実際に市内に繰り出し、まちづくりについて話し合いながら、末広町や銀座通り周辺等を散策しました。



## 地域の安全を守る 消防団を身近に

—消防団による防災教室—

11月12日、市立西小学校で、消防団による「防災教室」が行われました。

市消防団では、学校からの依頼を受け、地域防災についての出張教室を実施しており、西小学校では第5分団の分団長等が講師を担当。子どもたちは、消防団についての授業を受けた後、消火器を使ったシューティングゲームや、防火衣や消火器具の着用、消防車両の乗車などを体験しました。消防団員さんながら防火衣に袖を通した子どもたちは、初めての経験に目を輝かせていました。

## 農業振興に尽力

—農事功績者表彰受章—

畜産農家の細川康彦さん(下沢)が、(公社)大日本農会が主催する農事功績者表彰において緑白綬有功章りょくはくじゆゆうこうしょうを受章し、11月20日に市長へ報告しました。

本表彰は、農業上の改良や普及等に顕著な功績があった人を表彰するもので、今年度は県内では細川さんを含め2人が受章しました。

細川さんは、昭和59年の就農以来、和牛繁殖の振興や改良に取り組んできたほか、県農業士として後継者の育成等に尽力。「農業者として、目の前のことに夢中で取り組んできた」と受章の喜びを語りました。



## フェンスと路上をアートが彩る

—みんなでえがこう!フェンスアート—  
(meet with KANUMA 実行委員会)

市民文化芸術の日「meet with KANUMA」事業として、市庁舎の東側の工事フェンスに、市民の皆さんから募集した「鹿沼」をテーマとした絵画を飾る「フェンスアート」が、10月から始まりました。

併せて11月29日には、フェンスに面した道路を通行止めにし、チョークで路面に絵を描く「道路もキャンバス」も行われ、多くの親子連れが参加し、思い思いの作品を描き上げました。道路上の作品は、イベント終了後に消され、現在は元通りになっていますが、フェンスアートは3月まで掲示される予定です。

